

東呉大学日本語文学科

2027年日本語教育国際シンポジウム

「言葉の力—世界へ羽ばたく鍵—」

募集要項

1. **主旨**：近年、人工知能（AI）技術が急速に発展し、AIを活用した翻訳が広く普及するなか、外国語を学ぶ意義とその位置づけが改めて問われている。しかし、言語は単なる情報変換の手段ではなく、文化的背景や思考様式、人と人との関わり方をも内包するものである。文学翻訳、文化解釈、ビジネスコミュニケーション、国際交流などの分野においては、高度な言語運用能力、文化的素養、専門的判断力が、これまで以上に重要性を増している。

本学科は長年にわたり、高度な日本語運用能力、異文化理解力、国際的視野を兼ね備えた人材の育成に取り組んできた。このたび、「言葉の力—世界へ羽ばたく鍵—」をテーマに国際学術シンポジウムを開催し、国内外の研究者および専門家を広く招き、AI時代における日本語教育、文学翻訳、文化発信、産業の発展など、さまざまな観点から議論と交流を深める。言語が文化をつなぎ、相互理解を促進し、世界へと歩みを進めるうえで果たす中核的な役割を改めて問い直すとともに、次世代を担う言語人材の育成に向けた新たな可能性と方向性を探ることを、本シンポジウムの目的とする。

2. **募集分野**：日本語学、日本語教育学、日本文学、日本文化に関する研究課題（未発表の研究内容に限る）。
3. **主催**：東呉大学日本語文学科
4. **協力**：東呉大学外国語文学院・東呉大学東アジア地域発展研究センター
5. **開催日時**：2027年05月07日（金）09：00～17：00
6. **開催場所**：台湾東呉大学第一教学研究棟（台北市士林區臨溪路70號）
7. **発表言語**：日本語
8. **発表形式と時間**：口頭発表**15～20分**（発表者数に応じて調整）、質疑応答5分
9. **発表申込・原稿提出日程**

発表申込及び発表要旨提出締切日	2026年12月01日（火）17:00
発表採否日	2026年12月中旬（メールにてお知らせします）
発表原稿提出締切日	2027年03月01日（月）

発表申込・発表要旨及び発表原稿の提出は以下の[Googleフォーム](#)にて行ってください。

①[原稿テンプレート](#)

②[発表要旨提出](#)（2026/12/01前）

③[著書、経歴、同意書提出](#)（2026/12/01前）

④[発表原稿提出](#)（2027/03/01前）

10. 発表原稿形式：

原稿は指定された書式に従って作成すること。規定外の形式は受理されない。

- (1) A4 横書き、Office 2010 以降の Word ファイル（拡張子.docx）を使用。
- (2) 余白設定：上 2.5cm、下 2.5cm、左 3cm、右 3cm。1 行 30 字、1 ページ 30 行。
- (3) 行間：[1 行] に設定し、[1 ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる] にチェックを入れる。
- (4) ページ数：図表、参考文献及び資料を含めて最大 8 ページ以内。
- (5) 使用言語：日本語
- (6) タイトル：中央揃え、14 ポイント、太字：中国語は標楷體、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman を使用。
- (7) 氏名、所属、職名、連絡先は右揃えで記載。12 ポイント、本文と同じ字体を使用。
- (8) 本文：
 - ①12 ポイント、左右揃え。
 - ②本文及び節タイトル：中国語は標楷體、日本語は MS 明朝、英数字は Times New Roman。
 - ③段落開始位置：日本語は 1 行目 1 字下げ、中国語は 1 行目 2 字下げ。
 - ④節の番号及びタイトル：太字。章間は 1 行空け、節間は改行する。
 - ⑤ページ番号：Times New Roman、10 ポイント、中央揃え。
 - ⑥図表：名称及び図表内テキストは本文規定に準拠し、中央揃えとする。
図タイトルは図の下、表タイトルは表の上に記載する。
- (9) 脚注：各ページ、10 ポイント、本文と同じ字体。
- (10) 参考文献、調査資料：

本文中で引用または参照した文献・資料のみを記載する。本文と同じ字体を使用。

日本語文献（五十音順）、中国語文献（著者名の画数順）、英語文献（アルファベット順）の順で記載。1 行以上にわたる場合、2 行目以降は 2 字下げすること。

11. お問い合わせ先：東呉大学日本語文学科秘書 沈晏伊 E-mail : japanese2@scu.edu.tw

2027年日本語教育国際シンポジウム

著作権許諾同意書

論文テーマ：_____（以下は「本論」）

一、本論は東呉大学日本語文学科が主催する「2027 年日本語教育国際シンポジウム」に投稿する。本論は本人の創作を保証し、内容は他人を著作権を侵害さず、それにほかの形で出版することもなく、本人は以上のことを授権し、この書で宣言する。もし宣言した内容と違った場合に、「2027 年日本語教育国際シンポジウム」を著作権法侵害や知的財産権侵害で裁判されるとき、本人がすべての責任を担うことにする。

二、本論は東呉大学日本語文学科により、掲載されることを受け入れ、東呉大学日本語文学科が地域・時間・回数の限りなく、印刷・マイクロフィルム・シーディー・電子ファイルの形でコピーやインターネットに配布することの権利を授権する。なおシンポジウム当日に論文発表のビデオと録音も同じである。

論文を二人以上で共同執筆する場合、本合意書に署名した著者または通知された共同著者は、各自が本合意書の条項に同意したものとみなし、代表して署名する著者に対して利用許諾権を授与する。

敬具 東呉大学日本語文学科

氏名（著者署名）：_____

携帯番号：_____

メールアドレス：_____

日付：_____

2027年日本語教育国際シンポジウム

過去5年間の研究実績、経歴

(注) 論文題目および要旨は、中国語（繁体字）・日本語の両方を提出してください。

氏 名	名前： 振り仮名： (パスポートに登録されている英語氏名：_____)
連絡先	(O)_____ (M)_____ (H)_____ E-mail:_____ 住所:_____
論文テーマ	中国語： 日本語：
所属・職名	
学 歴	
経 歴	
過去5年間の研究実績（2021年12月以降） ※箇条書きで説明してください。	

論文摘要（請以繁體字書寫）

論文題目	
關鍵詞 <五個以內>	
內容 (500 字以內)	

研究論文發表要旨（日本語で）

論文テーマ	
キーワード <5つ以内>	
内容 (500 字以内)	